

天井で動かないトンボを思い、観たり心配したりする場面

二本松市立川崎幼稚園（福島県）

「天井で動かないオニヤンマ」（4、5歳児）

実践事例集 vol.9 2章



園庭のビオトープの泥払いで見付け、飼育していたヤゴ。餌を食べなくなり動かなくなってしまい、みんなで心配していたある日、いなくなった。捜しているで見付かったが、天井に止まり動かなくなっている。

「羽がキラキラ光って見える」
「かっこいいー！」
「ヘリコプターみたい！羽の音したよ！」
などと、話していたが…。
「いつまで上にいるの？これからどうするの？」
「お外に出ないとごはん食べられないよ」
「天井に停まりながら体や羽を強くしていくんだね」



私は、お母さんトンボを作ってあげた！
お母さんだよー こっちへおいでよー

扇風機回してみる？

仲間だと思って付いて来るよ

その後、心配して見守っていたが、しばらくして、飛び立つトンボを見送る。「元気でね」と、みんなの声が届き、お別れができる。「友達に会えたかな」「餌、一人で捕れるかな」など、一匹で生きていけるのか心配する。そして、オニヤンマがまた戻ってくると考えて、手紙を書いてジャングルジムに付ける。

注目点

人やもの、出来事、自然とのかかわり、思いやりの心